



広報

# つがる

2007

11.15

No.67



10月12日、瑞穂小学校5年生41人が須藤敏一さん(下牛瀧町)の畑で、ごぼうの収穫体験を行いました。

児童たちは、長さ70センチほどに育ったごぼうを数人がかりで土から掘り出し、貴重な体験をしたようです。

収穫したごぼうは11月2日に行われた収穫祭で雑煮の具としておいしくいただきました。

# つがる市総合文化祭

11月2日から4日までの3日間、つがる市文化団体協議会（野呂隆昌会長）が主催する第3回つがる市総合文化祭が生涯学習交流センター「松の館」を主会場にして、木造中央公民館、森田体育センター、柏農村環境改善センター、稲垣交流センター、牛潟公民館、車力農民研修センターの7会場で開催され、展示作品33団体、舞台発表16団体によって盛大に行われました。

木造大正琴「琴友会」



津軽名和会（大正琴）



華丘レクダンスサークル



つがる逍遙会



山百合会



蕾の会



車力京和会



コーラス華



木造藤瑩会



丸岡流手踊教室



森田吟舞会



つがる宝生会



つがる市囲碁愛好会



車力大日本茶道学会



鷹揚つがる会



浅草遠州一清流

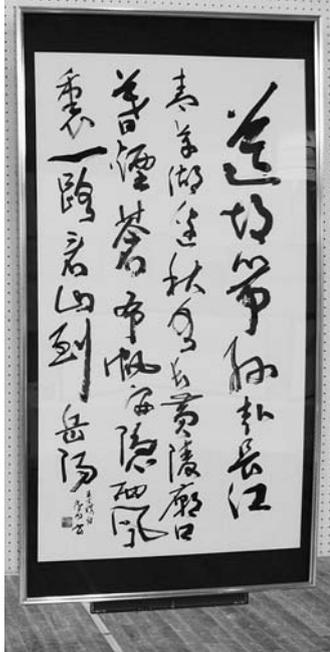


木生流



車力未生流

森田墨友会

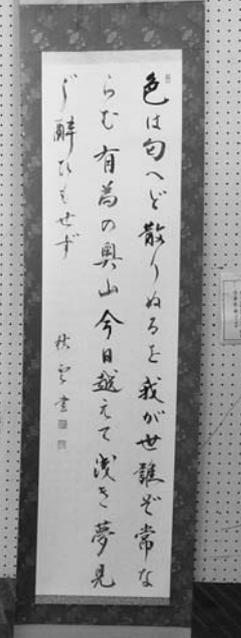


車力書道会



柏文化サークル

瑞林書道会



森田刺しゅうクラブ



森田写真クラブ



ひばきり絵の会

双龍書道会



北沢社中



稲垣染物サークル



稲垣版画サークル



木造チャーチル会

# 青森県立木造高等学校創立80周年

「文武両道」さらなる躍進

県立木造高等学校は、昭和2年4月1日、青森県立木造中学校として、木造町曙（現銀杏ヶ丘公園）に開校、以来昭和47年4月に現在地に移転、平成19年度に創立80周年を迎えました。

10月14日、青森県立木造高等学校創立80周年記念式典が同校体育館において、在校生、歴代校長、PTA会長、同窓生、学校関係者など約1200人が出席して行われました。

尾崎充美校長は「連綿と継承されてきた本校の歴史と伝統は、卒業生諸氏の汗したご苦労のもとに築かれたものであり、また地域の方々のご理解とご支援のもとに築かれてきました。今後、同窓の皆様方の絆が一段と深まり、在校生が本校の歴史を再確認して未来にはばたくことを期待します」と式辞を述べました。

引き続き、創立80周年記念事業協賛会の福島弘芳会長が「協賛会では、かるたグランプリ、記念講演会、記念吹奏楽演奏会、記念絵画写真展、同窓会員名簿発行、記念誌発行等の事業を行う事ができ、心から感謝いたします。80周年という節目を機に、文武両道精神を堅持しさらなる躍進

を念願します」とあいさつ。

また、在校生を代表して3年生の太田隆介君が「歴史の節目に現役の私たちが式典に参加できた事に感謝します。81年目を歩み出し先輩達が築いてきた名誉と栄光を、今以上に高めて後輩たちへ受け継いでいきます」と誓いの言葉を述べ、出席者一同でさらなる飛躍を誓いました。

## 青森県立木造高等学校 80周年記念式典



在校生を代表してあいさつする太田君

10月11日、市役所において新しい人権擁護委員に法務大臣名による委嘱状の交付が行われました。

委嘱されたのは、黒滝清昭さんと工藤みどりさんの2名で、任期は平成19年10月1日から平成22年9月30日までの3年間です。

人権擁護委員は、家庭内の問題、子どもへのいじめや虐待、隣近所のトラブルなどについて、いつでも皆さんの相談に応じます。もちろん、相談内容の秘密は守られ、相談は無料です。お気軽にご相談ください。

## 新たな

### 人権擁護委員



黒滝 清昭さん  
(稲垣町繁田)



工藤 みどりさん  
(木造丸山)

## 自衛官募集相談員

### 委嘱状を交付

10月24日、市役所において佐藤副市長から自衛官募集相談員16人へ委嘱状が交付されました。

石田隆久自衛隊青森協力本部長から「つがる市から昨年は11人の優秀な自衛官が採用されており、今年も地元から多数の人材を採用したいと思っておりますので相談員の皆様の御協力をお願いします」とあいさつしました。

相談員は五所川原市の地域事務所、自衛官志願者に対し、自衛隊に関する情報提供や地域での広報などの募集事務について援助・活動を行います。



委嘱状交付を受けた相談員の皆さん



# 稲わら有効利用に取り組む

つがる市管内における稲わら焼却による煙害を防止するため、稲わらの収集やすき込みを行い、環境にやさしい循環型農業を推進していく。



稲わら有効活用推進協議会長  
坂本 清衛 さん(木造越水)

県内でわら焼きが多いのは、西北五地域と言われています。

わら焼きは、健康被害や交通障害の要因になるなど市民生活に悪影響を与えるばかりでなく、市が取り組んでいる農産物ブランド化のイメージダウンにもつながりかねません。

このような事態を回避するため、つがる市稲わら有効活用推進協議会（坂本清衛会長）が平成19年8月30日に設立されました。

稲わらの有効利用には、畜産農家への提供や家庭菜園・ガーデニング用のフリーマーケット、野菜等への敷きわらなどに利用されているが、協議会が最も力を入れて取り組んでいるのが水田へのすき込みである。

坂本会長は「すき込みは、堆肥と同じ効果があり地力もアップして収量が上がると言われている。当面3年かけてすき込みを繰り返して、実績を踏まえて農家へ呼び掛けて行きたい」と話しています。

しかし、農家の現状としては高齢化や労働力が低下し、すき込みをしたくても出来ない農家もあるため、こうした現状も踏まえた取り組みが求められています。

▲「プラウ」を使ったすき込み作業

## 止まれをくっきり



メロンロードと高山稲荷神社に向かう道路との交差点付近

県内で多発している交通死亡事故を抑止するため、信号のない交差点上にある「止まれ」の表示が強調されました。青森県警は、県内18警察署から要望のあった102カ所の「止まれ」表示の左右にラインを引き文字を目立つようにしました。

つがる警察署管内では、車力地区のメロンロードと高山稲荷神社に向かう道路との交差点、メロンロードと航空自衛隊車力分屯基地C地区に向かう道路との交差点、県道鱈ヶ沢蟹田線と市道富蒔17号線との交差点3カ所に引かれました。

# 交通死亡事故多発 非常事態宣言 発令中！！

## 10月16日から12月31日まで

本年の青森県内の交通死亡事故者数は10月16日現在74人となり昨年同時期を29人上回る厳しい状況となっているため、県では「交通死亡事故非常事態宣言」を発令しました。

11月1日現在のつがる警察署管内での交通事故発生件数は98件で、死者は0人、傷者134人となっています。

これからは、日没が早まり夕暮れ時や夜間の交通事故多発が懸念される時期でもあるため、ドライバーは早め点灯を心がけ、歩行者は明るい服装や反射材を身に付けるなどして外出しましょう。11月の早め点灯の時間は、午後3時となっています。



## 輝かしい栄冠を手に

## — 総合格闘技空手道 —

9月23日、新潟市岩室体育館で世界武道連盟風林火山が主催する「第3回中日本武道空手道選手権大会」が行われました。

230人の参加選手が出場して行われた大会には、つがる市内の子ども達で構成している一真塾が各流派、会派の強豪チームを破りフルコンタクトの部とグローブの部で輝かしい栄冠を獲得しました。

一真塾は毎週土曜日の午後6時から8時まで稲垣体育館で練習を行っています。

## 縁起物のりんごをプレゼント

## — 桑寿園 —

10月11日、古坂徳夫さんが「日本最古のりんごの樹」から収穫したりんごを、特別養護老人ホーム「桑寿園」に送りました。

古坂さんは入所者一人ひとりにりんごを手渡し「長生きしてくださいね」と声をかけ、受け取った入所者の皆さんは「とてもうれしく励みになります」とお礼の言葉を述べていました。

古坂さんは毎年、長寿のりんごを老人施設等に送り皆さんから喜ばれています。



## 川がキレイになるように！

## — かつば広場 —

10月12日、向陽小学校2年生54人が、かつば広場の古田川に川を浄化する「EM活性液」を投入しました。

「つがる市川を愛する会」が毎年行っているもので、小学生に川をきれいにする心を持ってもらおうと実施。入船守司会長は「EM活性液は生きていますので、がんばって水をきれいにしてくださいと声を掛けて、まいてください」とあいさつ、児童らは1リットル用ペットボトル100本とEM活性液の土団子200個を一斉に投入しました。

## 夢庭秋まつり

## — 夢庭園 —

10月13日、NPO法人つがる夢庭志仙会代表の荒谷政志さんの自宅庭園で、第3回夢庭秋まつりが開催され、市内外から約250人が訪れました。庭園内に設けられた特設ステージでは、落語家の林家いっ平さんによる落語独演会が行われ、会場は笑いに包まれていました。昼はおにぎりやキノコ汁などが振る舞われ、柏太鼓演奏、米軍の家族たちとの餅つき会を行って交流を深め秋空の下、楽しい1日を過ごしていました。



## 小倉百人一首を学ぶ

## — 木造高校銀杏ヶ丘会館 —

10月16日、瑞穂小学校2年生49人と市民6人が参加して「小倉百人一首」競技かるたの講習会が行われました。

講師でつがる市かるた愛好会の木村俊昭先生（木造高校競技かるた部顧問）がルールを説明した後、実際に読手が上の句を読みはじめると、参加者は下の句が書かれた札を必死に探して取っていました。

瑞穂小学校では「五色百人一首」を授業に取り入れおり、今回の講習を生かしながらレベルアップして行くそうです。

## 火災に備えて

### —穂波小学校—

10月16日、穂波小学校で避難・火災訓練が行われました。

先生の誘導で校舎内から校庭に避難した児童らは、消防署員や木造地区消防団員の協力を得て、実際にホースを使つての放水訓練、保護者も参加しての消火器を使った消火訓練を体験しました。大淵則昭団長は「学校でも家庭でも防災意識を高めて、火事のない安全で安心できる地域をつくりましょう」とあいさつをしていました。



## 奉仕活動に汗流す

### —シルバー人材センター—

10月17日、「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の一環としてシルバー人材センターの会員70人が奉仕活動を行いました。

市役所前から県道までの通りと赤根団地付近の県道約3kmに渡って歩道の除草や土砂の除去など環境整備を行いました。

会員は「市役所に来る人や通学する子供たちが気持ちよく歩けるようにしたい」と清掃作業に励んでいました。

## 第4回子牛・育成雌牛品評会

### —<sup>ほくや</sup>屏風山牧野—

10月23日、富滝町の屏風山牧野で「第4回子牛・育成雌牛品評会」が行われました。

この品評会は、子牛の地域保留に努め飼養意欲と管理技術向上を図るため行われているもので、畜産農家が一生懸命育てた子牛47頭が出品されました。審査員が子牛の毛並みや体高などを確かめ審査した結果、雌子牛の部で成田久治さん、去勢子牛の部で葛西信廣さん、育成雌牛の部で梶浦武則さんの子牛が今年のチャンピオンとなりました。



## 車椅子を贈呈

### —社会福祉協議会—

11月2日、小さな親切運動本部（加福善貞青森銀行頭取県本部長）が社会福祉協議会へ車椅子2台を贈呈しました。

贈呈式では、青森銀行木造支店の葛西啓二支店長が福島弘芳社会福祉協議会長へ目録を手渡し、福島会長は「有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。

小さな親切運動は「思いやりあふれる、心のかよう社会づくり」を目的に数々の活動を全国で展開しています。

## りんご販売を体験

### —柏小学校—

11月2日、イオンモールつがる柏店で柏小学校4年生がりんごの販売を行いました。販売したりんご（ふじ）は、6月からJ Aつがるにしきた婦人部の協力を得て育てたものを、先月収穫して1袋（3個入）200円で販売しました。

児童たちは「いらっしゃいませー」と声を出してお客を呼び寄せ、試食をしてもらうなど用意した400袋の完売を目標にがんばっていました。販売した児童たちは「自分たちの作ったりんごが売れてうれしい」と楽しそうに仲間と話っていました。



## ねばりごしが製品化

10月25日、車力水田農業生産組合の工藤三千輝組合長が市役所を訪れ、ねばりごしを福島市長に贈呈しました。

工藤組合長は、4年前から車力産小麦（ネバリゴシ）を使ったうどんの製品化に取り組み、県内外の製粉所や製麺所に掛け合うなど試行錯誤

を繰り返して製品化を実現しました。ねばりごしは車力産小麦を100%使用し、麺の特徴としては淡い象牙色が独特のコシの強さとツルツル感が自慢だそうです。麺は太麺と細麺の2種類あり1束入りは3束入り750円、6束入り1,500円

円で販売され、むらおこし拠点館フラットとつがるにしきた農協富港支店で購入できます。

市では農産物のブランド化を推進しており、農産物加工品として全国にPRできる商品がまた一つ増えました。

販売に意欲を燃やす工藤組合長



## 防災を呼びかけた作品を表彰

10月15日、市消防本部において防災作品（習字）の入賞者への授賞式が行われました。

この作品展は「秋の火災予防運動」の一環として行われ、市内小学校の4年生から6年生を対象に募集した194点から18人の作品が選ばれました。表彰式では消防本部嶋田消防長から一人ひとりに賞状と副賞が手渡されました。応募があった全作品は10月18日から24日までイオンモールつがる柏に展示され、多くの市民に防災意識を呼びかけていました。

### — 入賞者 —

#### ◇4年◇【火の用心】

金賞	秋田	玖留実	(富港小)
銀賞	境	紗里奈	(豊川小)
	三浦	和恵	(穂波小)
銅賞	工藤	芙季	(車力小)
	山谷	祐利佳	(向陽小)
	横山	英里	(瑞穂小)

#### ◇5年◇【火災予防】

金賞	長内	亜有子	(豊川小)
銀賞	石川	仁美	(穂波小)
	山内	天人	(柏小)
銅賞	成田	春佳	(富港小)
	成田	麻香	(向陽小)
	長内	貴登	(車力小)

#### ◇6年◇【初期消火】

金賞	長利	圭真	(車力小)
銀賞	丹代	美生佳	(森田小)
	今	満里奈	(柏小)
銅賞	帯川	琴子	(豊川小)
	戸沼	優歌	(向陽小)
	三浦	雅広	(穂波小)

## つがる市出身者による「津軽まほろば会」が設立

初代会長に  
工藤 則次氏



あいさつをする工藤会長

10月21日、東京都新宿区の日本青年会館において「津軽まほろば会」の設立総会が行われました。新会設立の経緯は、旧木造町の「津軽まほろば会」と旧車力村の「車力ふるさと倶楽部」の組織を合併に伴い1本化したものです。

また、関東地域に居住している旧森田村、旧柏村、旧稲垣村の出身者及び市にゆかりのある人たちにも呼びかけをして新市としての会に改めました。

総会には、会員453人のうち約120人が出席、初代会長には工藤則次さん（67歳・旧木造町出身＝埼玉県在住）が就任し「会員相互の親睦と懇親を図り、故郷“つがる市”のために支援していきます」あいさつしました。

引き続き、福島市長、三橋一三県議、和田敏美東京青森県人会副会長が祝辞を述べ、アトラクションでは佐々木シローさんのエレキギター演奏やサエラのミニコンサート等で盛り上がりを見せていました。



入賞した18人の児童たち

## 第3回 つがる地区ライオンズ杯 争奪ソフトボール大会

10月27日、28日の2日間、五所川原市つがる克雪ドームにおいて第3回つがる地区ライオンズ杯争奪ソフトボール大会が開催されました。

本大会は青少年の健全育成と交流を深めるために行っており今年で3回目となります。

参加チームは市内各小学校から男子13チーム、女子6チームが参加し日頃の練習の成果を発揮していました。

試合結果は、下記のとおりです。

### ◇男子の部◇

優勝 森田C(クリーンナップ)チーム  
準優勝 富范小チーム  
第3位 豊川チーム  
森田M(ミラクル)チーム

### ◇女子の部◇

優勝 牛潟チーム  
準優勝 育成チーム  
第3位 瑞穂チーム  
柏チーム



男子の部で優勝した森田Cチーム



女子の部で優勝した牛潟チーム

功績がたたえられ功労表彰を受賞した白戸耕市さん



10月15日、東京都千代田区の科学技術館サイエンスで地方教育行政功労者の表彰式が行われました。この表彰は、地方教育行政の発展のために尽力された方に

## 地方教育行政功労表彰を受賞

つがる市教育委員 白戸 耕市さん

贈られるもので、県内からは5人が選ばれ、つがる市からは市教育委員の白戸耕市(富范町)さんが表彰されました。

受賞にあたり白戸委員は「目まぐるしく変化する教育改革に現場ではパニック状態になります。現場の混乱をすみやかに解決し指導しながらつがる市の教育発展に取り組みさせていただきます」と抱負を述べていました。

### 〈主な経歴〉

平成2年3月 旧車力村教育委員に就任  
平成5年7月 旧車力村教育長に就任  
平成17年2月 市教育委員に就任

## 家族に囲まれ健康長寿祝う 藤田要三さんが満100歳に

11月2日、藤田要三(木造広岡)さんがめでたく満100歳の誕生日を迎えられ、長寿を祝いました。要三さんは明治40年11月2日生まれで深浦町岩坂の出身。20代から30代の頃は旧樺太へ出稼ぎに行ったり、地方木材会社で丸太流しの仕事をし、昭和24年に独立して製材所を興しました。また、昭和8年に妻のたせ(92歳)さんと結婚し子供6人をもうけ、孫15人、ひ孫10人に恵まれました。

自宅を訪れた福島市長は「健康に留意して長生きしてください」とお祝いの言葉を述べ、顕彰状と記念品を贈呈しました。

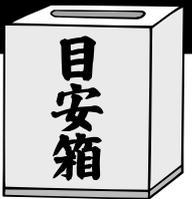
要三さんの長生きの秘訣は、好き嫌いをせず何でも食べることで、驚くことに歯がすべて自分の歯だそうです。りんごを丸かじりしたり身欠きニシンを食べるくらい歯が丈夫。

現在は、妻と四男の興機さん夫婦、孫2人の6人で暮らしています。



福島市長(右)や家族と記念写真に納まる藤田さん(中央)

# 市民からのご意見・提言



市では、市民の声を行政に繁栄させ今後の市政運営の参考とさせていただくために、市役所、各支所、イオン出張所に目安箱を設置しております。

平成19年度上半期（4月～9月）の目安箱への投書件数は27件ありました。市民から寄せられた意見・提言は、実施可能なものから速やかに実施する体制をとっております。上半期に寄せられた主な意見や提言をお知らせいたします。

意見・提言事項	回答欄
○職員に対する苦情愛想がない。	職員一同常に細心の注意をはらい、窓口業務の適切な対応に心がけ、接遇等の職員研修を重ねて職員の資質向上を図ってまいります。
○庁舎前の掲示板への掲示方法が乱雑で内容が判らない。	掲示スペースが限られているため皆様にはご不便をおかけしております。掲示文書が乱雑にならないよう注意して掲示させていただきます。
○しゃごちゃん温泉に対する苦情。(職員の対応が悪い。ロビーが混んで利用できない。利用者のマナーが悪い。)	全職員が接客マナーの向上に努め、名札をつけさせていただきます。ロビーのスペース確保のために軽食コーナーの椅子を移動し広げさせていただきます。浴室でのマナーについては「注意書き」を掲示し皆さんが気持ち良く利用できるように努めます。
○昼も点灯している街灯がある。	安定器の故障で修理させていただきました。今後は定期的な点検に努めます。
○成人病センターの送迎バスを森田地区にも運行させてほしい。	現在2台のバスで4路線の患者さんを送迎しています。平成12年6月から柏地区に2路線運行。平成17年2月の町村合併に伴い、路線の見直しを検討しましたが、2台のバスでは困難であり運行できない状態です。ご不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。
○乳幼児医療費の申請を簡略化してほしい。(子どもの病院や看病で、仕事を休むので、申請のために休まなくてもいいようにしてほしい。)	現在は、窓口にご来庁いただき申請者からの申請行為を受けて医療費の支給決定を行っております。保護者が申請できない場合は、代理者による受付もしておりますがご意見を真摯に受け止め、今後の協議・検討課題とさせていただきます。
○幼稚園の補助金制度が廃止された。撤廃ではなく補助をしてほしい。保育所では廃止されていない。	すくすく子育て支援費補助事業は、第3子以降の幼稚園保育料を減免することとした事業です。県の廃止により市教育委員会としても色々の方策を考えましたが、行財政改革の折、19年度より廃止することとしたものです。保育所は、20年度より廃止予定です。趣旨、事情をご理解くださいますようお願いいたします。
○かっぱ広場(木造)は、市民が手入れしているのを見かけるが、市は定期的に管理しているのか。	18年度までは、広場の管理に係る材料費を支給し、地域住民の協力で管理してきました。19年度より植栽管理(草刈、薬剤散布、樹木枝払い、雪囲い及び撤去等)は、つがる市シルバー人材センターに委託し、定期的に管理しています。また、地域住民のご好意により手入れがされている状況にもあります。ご指摘の点につきましては、市民の憩いの場として適正に管理していく考えであります。
○スプロク祭ゲートボール開会式をつがる地球村の円形劇場で開催したが、階段の上り下りは年寄りには、非常にきつかった。手すりがあれば楽。	スプロク祭の開会式会場として、円形劇場を使用しましたが、施設が高齢者用に設計されていないので、ご不便をおかけいたしました。手すりは、屋外に設置する上で、雪の影響及び安全面等を考慮し、それに耐える頑丈な設計にしなければなりません。現段階では工事費等を検討した結果、手すりを設置することは困難な状況にありますのでご理解くださいますようお願いいたします。
◇その他のご意見と回答	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「庁内案内板に部名を表示してほしい」については、1、2階の庁舎内案内板に「〇〇部」と明記しました。</li> <li>ごみ収集日程表(木造分)の月表示を縦並び表示ではなく横並び表示にしてほしいとの事ですが、下半期分がすでに印刷済のため対応できません。来年度は、多方面の意見を参考にしやすい日程表の作成を心がけます。</li> <li>図書新刊案内を、広報つがるNo57(6/15日号)から掲載いたしました。</li> <li>「小学校の送迎バス」については、不必要なアイドリングをしないよう業者に連絡いたしました。</li> <li>「窓口対応の椅子が低い」については、高さを調節出来る椅子について検討いたします。</li> </ul>	

引き続き、市民皆様のご意見、ご提言をお待ちしております。

問い合わせ先 市役所 総務課 電話 42-1105

IT社会の  
バスポート  
住基カード®  
(全10回)

さらに安全  
なセキュリティ機能

住基カードで採用されているICカードには、「小さなコンピュータ」ともいえる情報処理機能があります。これまでキャッシュカードなどに利用されていた磁気カードとは異なり、ICチップに内蔵されたマイクロプロセッサ(超小型処理装置)により高いセキュリティ機能を確保しています。

なぜICカードのセキュリティは高く安心なのだろうか?

磁気カードは、カセットテープと同じような仕組みで情報をそのまま記録する媒体です。このため、読み取り装置があれば記録された情報を簡単に解読することができ、カードを偽造することも可能です。これに対して、ICカードは、情報を暗号処理して記録します。

さらに、住基カードはデータをいくつもの利用領域に分けて記録しています。それぞれの領域は、アプリケーションファイアウォールという壁によって完全に分けられているので、利用しているサービス以外のデータを勝手に読まれることはありません。

こうした高いセキュリティにより、仮に暗証番号を盗み見されても、ICカードを偽造することは非常に困難であることから、悪用される恐れはほとんどありません。

問い合わせ先

市役所 市民課  
電話 42・1108



## 老人福祉センターまつり

日時 11月22日(木)  
午前10時～午後2時  
場所 木造老人福祉センター  
内容 午前10時 健康劇「劇団とみちゃん」  
着物着付け発表  
午後1時 エールの会による紙芝居  
午後1時30分 ビンゴ大会

○陶芸体験コーナー  
○展示コーナー

生け花・陶芸(土の会)・書道・機能訓練・ひなた児童会館・ひまわりの家・あいうえおの会  
※昼食を準備しております

問い合わせ先

市役所 介護課  
電話 42・2042

## ●食事バランスガイド料理教室

日時 11月26日(月)  
午前9時半～正午  
場所 木造保健センター  
内容 食事バランスガイドにもとづく献立の調理と試食  
対象者 どなたでも参加できます  
参加費 無料  
持参物 三角巾・エプロン  
申込締切 11月22日(木)

## ●11月の健康づくり講座

日時 12月1日(土)  
午前10時～午後12時30分

場所 生涯学習交流センター「松の館」  
内容  
・講演「うつ病ってどんな病気？」  
講師 芙蓉会病院医師  
・実技「心を音に託して伝え合おう」  
講師 音楽療法士 佐々木 純子氏  
・エールの会による紙芝居等

## ●第4回ひきこもり家族教室

日時 12月3日(月)  
午前10時～正午  
場所 木造ふれあいプラザ(木造駅隣)  
内容  
・ひきこもりの理解と対応  
・家族同士の話し合い  
講師 青森県立精神保健福祉センター 精神保健医長 岩佐 博人氏  
対象者 ひきこもりの青年等を抱える家族  
参加料 無料  
申込締切 11月30日(金)まで  
その他 個別相談も受付いたしますので、保健師まで相談ください。

## ●第4回健康づくり講座

日時 12月6日(木)  
午後2時～3時30分  
場所 生涯学習交流センター「松の館」  
テーマ 「健康によいお酒の飲み方」  
講師 弘前大学医学部 社会医学講座 教授 中路 重之氏

問い合わせ先

市役所 健康推進課  
電話 42・2044

## 市有地売却について

市では、左記の物件(旧川除小学校)を現状有姿で一括売却します。買受を希望する方は入札に参加してください。

### 〈売却物件〉

物件	所在地	地目/種類	家屋番号	構造	数量(m <sup>2</sup> )
土地	つがる市木造豊田矢立1番2	現況:宅地	-	-	6,608
土地	つがる市木造川除醒員28番1	現況:宅地	-	-	9,322
建物	つがる市木造豊田矢立1番2	倉庫(旧校舎)	1番2の1	木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	1階1,036.81
	つがる市木造川除醒員28番1			2階701.40	
建物	つがる市木造豊田矢立1番2	倉庫(旧体育館)	1番2の2	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	602.85
建物	つがる市木造川除醒員28番1	倉庫(旧教員住宅)	28番1の1	木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	50.51
建物	つがる市木造川除醒員28番1	倉庫(旧更衣室)	28番1の2	木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	32.29
	つがる市木造豊田矢立1番2				

※プール、脇門、土俵屋根等その他の工作物を含みます。

・物件の予定価格 1千4百65万円  
・物件の法規制等 都市計画区域外  
・物件の図面、契約条項等を示す場所及び縦覧期間  
市役所 財政部 管財課

11月22日(木)までの午前8時30分～午後5時15分(土、日曜日を除く)  
現地説明  
11月19日(月) 午前11時  
売払い物件の所在地

入札及び開札  
日時 11月28日(水) 午前11時  
場所 市役所2階 相談室

入札参加者の資格  
地方自治法施行令第167条の4第1項及び第2項の規定に該当しない方  
入札参加の申し込み  
入札に参加する方は、11月19日から22日までの間に、入札保証金に次の書類を添えて一般競争入札参加申込書を提出してください。

【添付書類】  
印鑑証明書、身分証明書(法人の場合は経営規模等総括表)  
入札の無効  
入札参加資格のない者とした入札及び入札条件に違反した入札は無効とします。  
契約締結の期限  
落札決定の日から7日以内  
代金の納入期限  
契約締結の日から30日以内に全額納入してください。

問い合わせ先

市役所 管財課 電話42・2394

## 男女共同参画推進「市民の集い」

日時 11月22日(木) 午後6時  
場所 生涯学習交流センター「松の館」  
テーマ「人間を尊重し、思いやり優しさにあふれるまち」  
講師 COCOAあおもり代表 一條 敦子氏

問い合わせ先  
市役所 企画課 電話42・2372

## 19年度後期消防設備士 及び危険物取扱者試験

〈消防設備士〉  
試験日 平成20年2月2日(土)  
八戸工業高等学校

試験日 平成20年2月3日(日)  
青森戸山高高等学校

種類 甲種 第1類〜第5類  
乙種 第1類〜第7類  
願書受付 12月10日(月)〜19日(水)

〈危険物取扱者〉  
試験日 平成20年2月16日(土)  
六ヶ所村文化交流プラザ「スワン」

種類 甲種・乙種  
願書受付 1月7日(月)〜16日(水)  
手数料 甲種5000円/乙種3400円  
※受験願書は市消防本部でも配布しております。

問い合わせ先  
財消防試験研究センター青森県支部  
電話017・722・1902

## 第59回人権週間〔12月4日から10日〕

育てよう 一人一人の 人権意識 ～思いやりの心・かけがえのない命を大切に～

毎年12月10日を「人権デー」と定め、「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を人権週間としております。私たち一人一人が人権について考え、明るく豊かな住み心地の良いまちをつくりましょう。

日時	12月5日(水) 午前10時～午後3時			
場所	生涯学習交流センター「松の館」			
人権擁護委員	葛西弘和	木造地区		
	小笠原金美	〃		
	平田昌子	〃		
	工藤みどり	〃		
	神静枝	森田地区		
	鳳至満	柏地区		
	成田房子	〃		
	黒滝清昭	稲垣地区		
	北澤一郎	車力地区		

### 《重点目標》

- ◎ 女性の人権を守ろう
- ◎ 子どもの人権を守ろう
- ◎ 高齢者を大切にすることを育てよう
- ◎ 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ◎ 部落差別をなくそう
- ◎ アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ◎ 外国人の人権を尊重しよう
- ◎ HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- ◎ 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ◎ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ◎ インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ◎ 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ◎ ホームレスに対する偏見をなくそう
- ◎ 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ◎ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

困った場合はこちらまでどうぞ!

- 青森地方法務局五所川原支局 電話34-2330
- 子ども人権110番 電話0120-007-110
- 女性の人権ホットライン 電話0570-070-810

問い合わせ先 市役所 市民課 電話42-1108

## 知事とのわいわいミーティング 傍聴者募集

青森県の未来を創るための提案・提言について、知事と県民の方が直接意見交換をする「知事とのわいわいミーティング」を開催します。

傍聴を希望される方は、事前に申し込みくださるようお願いいたします。

日時 12月7日(金) 午後2時から4時  
会場 生涯学習交流センター「松の館」視聴覚室  
申込方法 氏名、住所、電話番号、車いすの使用、手話通訳、託児の希望の有無を明記して、ファックス又は電子メールでお申し込みください。  
申込締切 11月30日(金) 必着  
申込先 〒030-8570 青森市長島1の1の1 青森県政策調整課広報広聴グループ  
●FAX 017-734-8031 ●メールアドレス koho@pref.aomori.lg.jp ●電話 017-734-9138

# 男女共同参画社会コーナー

## 男性の方に向けて

### 男女の立場が逆転したら

男性の皆さん、男性が女性の立場にそっくり入れ替わったらどうでしょうか。まず、家庭では、仕事から帰って家事をするのは男性のあなたで、妻は仕事から帰ると、「メシ、フロ！」とあなたに言っただけかもしれません。また、会社では、女性社員が多い中であなたは少数派の男性として働き、女性の昇進が早いことから、女性の幹部の指示を受けて仕事をするのです。そして、地域では、女性中心の役員で物事が決まり、男性は料理を作ったり黒子として働くだけです。

このような状況を想像して、男性としてどう感じますか。

「ちょっとおかしいな」、「かなり問題だ」と思いませんか。これまで多くの女性が感じていたこのような気持ちを理解するようにしましょう。

## 固定的役割分担意識の改革を

平成の時代に入り経済が低成長となったため、家計の収入も目減りし、女性も外で収入を得ていかなければなりません。女性も男性と同様、仕事に責任を背負っていることから、家庭では、男性も家事や育児に女性と同様責任を持たなければなりません。

これを踏まえて、家庭及び社会での身近なことにおける意識改革は、身近な不合理なことなどを直すことにつながります。この機会にご一考してください。

## 男女共同参画の体現で実感を

子育ては、子どもの命を育てることや、未来を託す人材を育てるといふ重要な役割です。しかし、子育ては、体力、気力が必要であり、また、核家族化が進んでいる状況では、子育ての悩みを相談できないで、ストレスがたまっている女性が多く見られます。

## ワーク・ライフ・バランス

男性が「子育てをしたい」、「家事をしたい」、「勉強して自分を磨きたい」、「ボランティア活動をしたい」と考えていても、仕事と家庭の両立が必要であり、現実には困難な状況となっています。このことは、女性においても同じことが言えます。

そのため、今後、男性、女性が、仕事、家庭、健康管理、趣味、自己研鑽、地域生活の面で希望あるいは選択したライフスタイルは、これらのことが調和し、特に仕事、家庭の両立が必要です。この調和をとることが、「ワーク・ライフ・バランス」といい、男女共同参画においては、必要不可欠なことです。

一方、社会全体でみると、男性、女性がこのままの働き方を続けていくと、少子高齢化や人口減少により企業等の労働力が不足となり、経済も危機的状況となります。また、社会全体の機能維持が難しい状況となります。このような状況を打破するのは、ワーク・ライフ・バランスの実現が大事です。

さて、男性が固定的役割分担意識を改革しても、実質このような女性の苦勞の軽減は避けられません。

そこで、男性には育児を体験していただきたいのです。男性が育児することにより、女性の苦勞を実感できるし、また、育児を通して夫婦のコミュニケーションが活発になり夫婦仲が良くなるはずですが、また、子どもの情緒や教育面において男性の役割は大きいと言われますし、育児の参加は自分をまた成長させてくれる大きな効果を持っています。

是非、子育てに参加してください。いや、子育てだけではなく、掃除、洗濯、炊事などの家事についても、妻と分担して参加していただきたいのです。

また、第二、第三の人生に向けて、仕事だけでなく自分の趣味や自己研鑽、健康管理、ボランティア活動などに積極的に参加して、いわゆる「人生の複々線化」を目指したらいかがでしょうか。

### 青森県ジェンダー川柳優秀作品

・ やじろべえ ほどよい重さ  
釣り合って

・ 支えあう 家族みんなの  
奮闘賞

・ 参画で 男と女が 輝ってる

※ジェンダー川柳とは、社会に根強く残る性別役割分担意識やそれに基づく習慣などを鋭く、またユーモラスに表現した川柳です。

## CIR column

国際交流員 コラム

### 秋、そして冬に向けて

10月下旬、つがる市の最高気温は20度でした。八甲田山では初雪が観測され、本格的に津軽半島の厳しい冬を迎えます。朝は息が白く見えるようになり、除雪作業がそろそろ始まると思います。秋と冬が好きな私にとって、これからの約5ヶ月間はかなり気に入っています。

私のつがる市での生活は去年の8月に始まり、2年目に入ったところです。14ヶ月間で祭りに参加したりバス市との交流など色々な経験ができました。

10月と言えば稲刈り。黄金色に実った稲が収穫され美味しい新米になる時期です。しかし、去年も今年も非常にびっくりしたことがありました。それは稲刈りが終わったら、残された稲わらを燃やして処分するということです。アメリカでは、こういう処分方法は見たことがありません。

3週間以上もつがる市のごへ行っても、煙の状態が続き、出張の帰りに市役所に向かって車を運転していたら、煙があまりにも多すぎて、道が完全に見えなくなっていました。恐怖におののいて、事故に遭いそうな気がしました。

交通安全や健康の面では危険だと思います。稲わらを処分するのは、確かに難しい問題ですが、私たち市民のため、来年こそはみんなで力を合わせて、焼かないよう、ボランティア活動などで良い方法を見つけましょう。

国際交流員 クレル・ティモシー

# 冬

## を快適に過ごすために 除排雪作業にご協力を！

今年も雪の季節がやってきます。市では今冬の除排雪を計画し、市民生活の安全が図られるよう、努力してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



### 除排雪業務

市では幹線道路・生活道路等の除雪延長約364kmを直営除雪と民間委託により行います。

除排雪業務の実施期間は12月1日から3月31日までとしますが、除排雪実施期間前後であっても、降雪状況により除排雪を実施します。

### 除排雪体制

○つがる市の除排雪の体制は、全区域を統括する本部を**市役所建設部土木課**に設置いたします。

○除雪パトロールは市内を巡回し、雪の状況を随時的確に判断し、効果的な除排雪が実施出来るようにします。

## 円滑な除排雪作業のためにご協力を

### ○深夜作業にご理解をお願いします

朝の通勤・通学経路、歩行者の安全確保や作業効率などの理由から、除排雪作業は深夜・早朝行います。

### ○路上駐車はやめましょう

路上駐車は除雪作業の妨げとなり、地域全体に迷惑がかかりますのでやめてください。また、事故などでやむを得ず路上に駐車する場合は、目印に赤旗を立ててください。

### ○道路に雪を捨てないでください

除雪後に残る寄せ雪は各世帯で取り除くようお願いいたします。同様に各家庭の雪を道路に押し出すこともおやめください。

### ○通行規制にご協力をお願いします

除雪及び排雪作業を迅速かつ安全に進めるため、道路を一時通行止めにする場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

### ○消流雪溝は正しく利用しましょう

消流雪溝は、住民協力により道路の幅を広げ、地域住民の安全確保のための施設として整備されておりますので、今冬もご協力いただきますようお願いいたします。利用に際しては**作業終了時投雪口を必ず閉める**等を守っていただき、地域の施設として大切に利用いただきますようお願いいたします。

### ○除雪車が作業中の時は近寄らないようにしましょう

除雪車は重機械であり、前後10m位は死角となります。また、雪の中に混じっている碎石、ガラス等が飛び散る場合もありますので、30m以内に近寄らないようお願いいたします。

問い合わせ先：市役所建設部 土木課 道路維持係 電話 42-2111